

日本特殊緑化協会

<http://www.jsra-web.com>

事務局長 杉山勝茂 sugi@jsra-web.com

日本特殊緑化協会

会長 関口 進 (昭建工業(株)代表取締役)

事務局 〒003-0001

札幌市白石区東札幌1条2丁目2番16号

Tel.011-816-0017 Fax.011-816-6771

E-mail: info@jsra-web.com

1. 協会の歩み

日本特殊緑化協会は、昭和63年1月に発足(当時、日本特殊緑化建設業協会)し、間もなく23年目を迎えます。協会発足当初18社だった協会員は現在50社までになり、客土注入マット工(植生基材注入工)をメインに全国各地で地元へにねざした緑化提案・営業を展開しております。

バイオ・オーガニック工法シリーズも、この間に成長を遂げ、現在14工法、48規格までバリエーションが増えました。また、全国で採用が増えてきた中、早くから会計検査にも合格し、着実にその実績が認められてきました。

その歩みを振り返ってみると、平成元年以降、現国土交通省東北地方整備局、同九州地方整備局、他がモルタル面の緑化に採用(スーパーバイオ・オーガニック工法)。九州地方整備局のパイロット事業の法面緑化、北海道開発局フィールド事業での河川護岸緑化(バイオ・オーガニック・リバー工法)に採用。また、北海道南西沖地震後の奥尻島、阪神淡路大震災後の六甲山、有珠山噴火後の金比羅山周辺など多くの災害復旧工事にバイオ・オーガニック工法が採用されてきました。

平成8年には建設大臣より建設技術評価に基づく評価書(建技評第95205)を受領し、NETISにも3工法が登録されております。

施工実績は、平成22年3月末現在累計2,426件2,325,788㎡と客土注入マット工では全国一を誇ります。

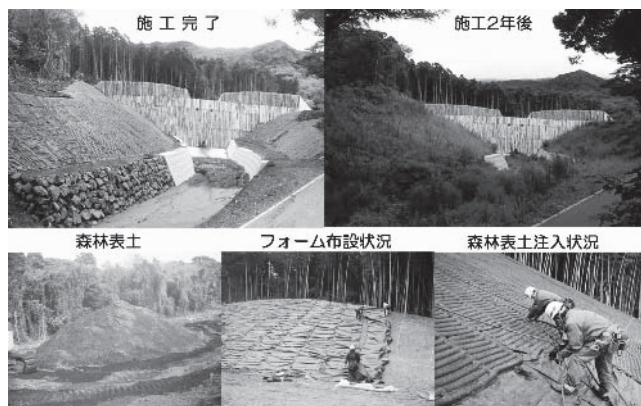


写真 エコアップ緑化工法施工2年後の植生調査では、高木3種、低木4種、草本21種が確認され、自生種による自然回復が図られています。

2. 協会のこれから

近年、のり面緑化工においても外来種対策への要求が多くなっています。当協会はこのこれに答えるべく、森林表土に含まれる埋土種子を緑化材料として活用した自生種による自然回復を図るエコアップ緑化工法、60種の在来樹種を用いて多様性ある植生を実現する差込型幼苗植栽工: ネイルポットに早くから取り組んだほか、客土注入マットにネット系資材を組み合わせた自然侵入促進工などを提案し、実績も増えてきました。

このたび、当協会ではこれらの新たな植生工をさらに地域に密着した工法として展開すべく、エコアップ緑化工法研究会を設立しました。研究会は、森林表土採取方法やモニタリング調査に関するデータを基に技術の開発・改善を行い、工法の研究及び情報の共有化により自生種による自然回復技術の確立を目指したいと考えております。

これからも日本特殊緑化協会にご期待下さい。

(NETIS 登録技術)

バイオ・オーガニック工法: CG-980020-V

バイオ・オーガニック・リバー工法: TH-990041-A

エコアップ緑化工法: QS-050010-V

差込型幼苗植栽工・ネイルポット: QS-050018-A

支部事務局

- 北海道支部: 昭建工業株式会社内 TEL(011)814-6661
- 東北支部: 昭栄建設株式会社内 TEL(019)647-2222
- 北陸支部: 小柳建設株式会社内 TEL(0256)35-8123
- 関東支部: 株式会社島田組内 TEL(042)578-2111
- 中部支部: 川中島建設株式会社内 TEL(026)292-1341
- 東海支部: 株式会社ニシノ内 TEL(0574)75-2136
- 近畿支部: 若越緑化株式会社内 TEL(0776)35-3793
- 中国支部: 株式会社堀工務店内内 TEL(0854)85-8151
- 四国支部: 開発コンクリート株式会社内 TEL(0875)25-4131
- 九州支部: 富士建設株式会社内 TEL(0952)84-2217